

CVCだより

彩の秋号
VOL.5

発行: 中央大学ボランティアセンター (多摩キャンパス6号館地下1階学生課内 042-674-3487) 発行日: 2016年10月



各地で夏ボラ、実施しました

夏休みは、各地で多くの中央大学の学生がボランティア活動に精を出しました。

被災地支援学生団体とよばれるボランティアセンターの公認団体は7つあり、「はまらいんや」は宮城県気仙沼市で仮設住宅を訪問(写真上段左)、「はまぎくのつぼみ」は岩手県宮古市で災害公営住宅を訪問(写真上段中)、「チーム女川」は都内で開催された女川町観光協会のお手伝い(写真上段右)、「チーム熊本」は熊本県阿蘇郡西原村にて足湯活動(写真下段左)、「面瀬学習支援」は宮城県気仙沼市で子どもたちの活動(写真下段中)、「チーム防災」は東京都日野市にて防災啓発活動(写真右列中)、「りこボラ!」は東京都文京区でのイベントでのお手伝い(写真下段右)を行いました。

現地にどんなニーズがあり、いつ、どこで、どんな活動を実施するかは、学生たち自身で発見し決断します。夏休み前に現地へ一度訪問するなどして、ひとりよがりの活動にならないように気を付けています。

また、多摩地域でのボランティア活動や広報活動にも力を入れています。この夏も、多くの学生が日野市や八王子市での地域づくり・まちづくり活動に参加させてもらいました。

ボランティアに限らず、何かを体験した後は「振り返り」がとても大切です。色んな体験はしっかりと振り返りをする事で自分の糧となり、貴重な経験となります。「楽しかったー」で終わらず、自分が何を感じたか、どうしてそう思ったのか、自分のやったことは社会でどんな意味があるのか、などなど、一緒に深めていきませんか？
皆さんのご参加、お待ちしております！！

●ボランティア活動×体験 振り返りワークショップ●

★日時: 10月6日(木)16:40~18:10

★場所: 多摩キャンパス 1号館 1410教室

★申込: メールアドレス chuo_volunteer@tamajs.chuo-u.ac.jp
宛に、件名【振り返りワークショップ希望】として、1.名前、
2.学籍番号 3.メールアドレス を記入して送ってください。

ボランティアの現場より 今回は「はまぎくのつぼみ」

ボランティアセンターの公認団体は7つあり、そのひとつである「はまぎくのつぼみ」。この団体の特徴は、現地へ行くことに加え、多摩地域における発信活動として、物産展を行っています。

* * * * *

私達「はまぎくのつぼみ」は、岩手県宮古市にて活動をしています。今年度は新たに活動に参加する学生が増え、団体に所属する学生は40名を超えました。私達は学生・宮古市・大学・社会の間に「つながり」を創造することを理念としています。震災から5年半が経ち、新たなコミュニティの輪をつくるお手伝いをしたり、定期的に学童に訪問し子ども達の成長を見守ったりするソフトな支援活動へと形態を変えながら、継続的な支援を行っています。

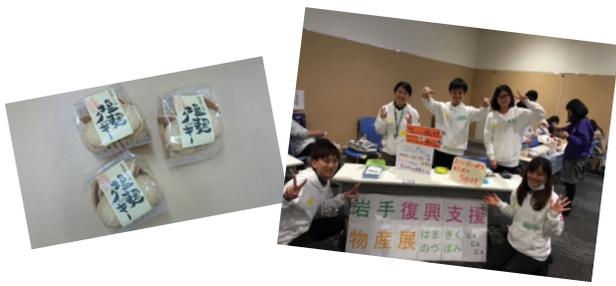


さらに、はまぎくのつぼみでは都内での発信活動にも力を入れています。今年度は、4回物産展を実施する予定で、現地での活動を行ったメンバーによる物産展は毎回大盛況です。

より東北・宮古市のことを皆さんに好きになっていただくために、魅力いっぱいの商品をそろえてお待ちしております！

【今後の物産展スケジュール】

- 10月23日 ホームカミングデー @ 多摩キャンパス
- 11月21日～25日 生協物産展 @ 多摩キャンパス
- 2月11・12日 イオン物産展 @ イオンモール多摩平の森



参加者募集！

★詳細・申込はボランティアセンターへ
chuo_volunteer@tamajs.chuo-u.ac.jp

● 公務員になりたい人のための

防災・災害ボランティア入門 ●

公務員になりたい人、公務員に進路が決まった4年生も、必見です！災害時には市民のために先頭を切って仕事に励むことになる公務員。一体、どんなことをするか想像できますか？また、今後一層社会で必要となってくる防災活動。「自助・共助・公助」の意味、本当に理解していますか？今回の講座では、防災・災害ボランティア分野ではリーダー的存在である方々に加え、日野市役所防災安全課の方にも来ていただきます。
★日時：11月16日(水)16:40～18:10 ★場所：6103教室
★申込：メールアドレス chuo_volunteer@tamajs.chuo-u.ac.jp
宛に、件名【防災・災害ボランティア入門】として、1.名前、2.学籍番号 3.メールアドレス を記入して送ってください。

教えて！ チュー王子！



ボランティア応援
マスコットキャラクター
チュー王子

- Q. あまり体力に自信がありません。こんな私でも、なにかできることはありますか？
- A. もちろんだच्छゅ！！
ボランティア先でできることなんて、ホントにたくさんあるのだ。ガテン系の作業以外にも、人の話を聞く傾聴ボランティアは、この世の中、どこでも必要とされているだच्छゅ。
その他にも、何か自分の得意なもの、趣味でやっているものを披露したり、勉強や日本語を教えたり。やりたいという気持ちさえあれば、できることは無限大だच्छゅ！！

『ぼらせん』のひとりごと

中村亨・商学部教授

※ボランティアセンターの
運営委員会の先生方による、
リレーコラムです。

「体験・発見し自分の世界を広げよう」

学生時代、障がい者施設に初めてボランティアに行った。重度の障がいがある人たちが話もままならず、何を考えているのか分からない。食事の介助をしながらその横で自分も食べるのだが、よだれと食べ物を口からこぼすのが目に入ると、正直食欲は失せ、砂利を喉に流し込んでいた。

別の日また行き、人なつこい小学生がいたので、話しかけてみると、笑い、相槌を打ってくれて、心が通じ合ったように感じた。すると食事と一緒に、普通にできるようになった。

「障がい者も自分と同じ人間」と頭で分かったつもりでいるのと、体験を通し実感するのは全く違う — そのときそう悟った。ボランティアは、発見と体得の大きな機会になり得ると思う。



編集後記

5回目の発行となる『CVCだより』。ボランティアの魅力をもっともっと皆さんに知ってもらいたく、年に数回発行しています。

台風も相次いだこの夏～秋、これからも自然災害が心配です。台風10号での被害を受けた岩手県では、まだまだボランティアニーズも多く、人手が全く足りない状況にあるようです。

進路が決まった4年生、何か人の役に立ちたい人、ぜひまずは知って、行動してみませんか？「愛」の反対語は「無関心」。もう人ごとではありません。

★メーリングリスト配信中★
右記URLから申込できます。
様々な情報発信中！

